

## 受注者選定における評価項目及び評価要領

### I. 評価項目・配点一覧表

		評価項目	配点
(1)	企画提案	提案課題 1	20
		提案課題 2	20
(2)	プレゼンテーション及びヒアリング	人員配置体制・ 設計チームの特徴	20
		取組み方針、意欲	20
		コミュニケーション能力	20
合 計			100

### II. 評価要領

#### 1. 目的

本要領は、「令和5年度 都市構造再編集中支援事業 木造大屋根実施設計業務委託公募型プロポーザル実施要領」に定めるもののほか、プロポーザル審査における優先交渉権者及び次点者を選定する事務に必要な事項について定めるものとする。

#### 2. 評価方法

- 令和5年度 都市構造再編集中支援事業 木造大屋根実施設計業務委託公募型プロポーザル審査委員会(以下「審査委員会」という)は、本要領に基づいてプロポーザル審査を行う。
- プレゼンテーション終了後、応募者と審査委員会による意見交換の場を設けるものとする。
- プロポーザル審査においては、審査委員会が協議の上、(1)「企画提案」、(2)「プレゼンテーション及びヒアリング」について本評価要領に基づき、各審査委員が評価シートにて評価を行う。
- 合計点の1番多い者を優先交渉権者、2番目に多い者を次点者にそれぞれ選定する。尚、応募者が1者である場合もプロポーザルは成立するものとする。ただし、合計点が満点の60%に満たない場合は優先交渉権者に選定しない。

#### 3. 審査評価基準

##### (1) 企画提案に対する評価【配点：40点】

##### ① 提案課題 1【配点：20点】

「将来的な大屋根の維持管理方法やメンテナンス、地域産木材活用に向けた取組みについて」

＜主な評価の視点＞

木造建築物の維持管理方法やメンテナンス、地域産木材活用に関する提案について、独創性・実現性に配慮されているか評価する。

評価	不十分	やや不十分	普通	やや良好	良好
独創性	1	2.5	5	7.5	10
実現性	1	2.5	5	7.5	10

② 提案課題2【配点：20点】

「リニア開通に向けた機運醸成のための、大屋根のモックアップ製作に向けた市民等の参画について」

＜主な評価の視点＞

大屋根のモックアップ製作に向けた市民等の参画に関する提案について、独創性・実現性に配慮されているか評価する。

評価	不十分	やや不十分	普通	やや良好	良好
独創性	1	2.5	5	7.5	10
実現性	1	2.5	5	7.5	10

(2) プレゼンテーション及びヒアリングに対する評価【配点：60点】

提案課題に対するプレゼンテーション及びヒアリングにおいて、人員配置体制・設計チームの特徴・取組み方針が意欲的に示されているか、コミュニケーション能力は十分かについて評価する。

評価	不十分	やや不十分	普通	やや良好	良好
人員配置体制・ 設計チームの特徴	1	5	10	15	20
取組み方針、意欲	1	5	10	15	20
コミュニケーション能力	1	5	10	15	20

4. 優先交渉権者、次点者の選定

- (1) 審査の結果、評価点合計の最も高い者を優先交渉権者、次点の者を次点者とする。
- (2) 評価点合計1位の者が複数となった場合は、審査委員の投票方式により順位付けを行う。評価点合計2位の者が複数となった場合も同様とする。

審査委員氏名： \_\_\_\_\_

## 評価シート

(設計チーム名)

評価項目		評価内容	評点	
(1)	特定テーマに対する企画提案	提案課題 1	独創性	不十分      普通      良好 1 ・ 2.5 ・ 5 ・ 7.5 ・ 10
			実現性	不十分      普通      良好 1 ・ 2.5 ・ 5 ・ 7.5 ・ 10
		提案課題 2	独創性	不十分      普通      良好 1 ・ 2.5 ・ 5 ・ 7.5 ・ 10
			実現性	不十分      普通      良好 1 ・ 2.5 ・ 5 ・ 7.5 ・ 10
(2)	プレゼンテーション及びヒアリング	人員配置体制・ 設計チームの特徴	不十分      普通      良好 1 ・ 5 ・ 10 ・ 15 ・ 20	
			取組み方針・意欲	不十分      普通      良好 1 ・ 5 ・ 10 ・ 15 ・ 20
		コミュニケーション能力	不十分      普通      良好 1 ・ 5 ・ 10 ・ 15 ・ 20	
			不十分      普通      良好 1 ・ 5 ・ 10 ・ 15 ・ 20	
合計点数			点	